



なみき

# 並木まさとし

39号



ナイスショット通信 第39号

46歳

発行者 埼玉県議会議員 並木正年 〒365-0038 埼玉県鴻巣市本町3-2-19-B  
TEL 048-541-7777 FAX 048-543-8000 namikimasatoshi@soleil.ocn.ne.jp

埼玉県議会2月定例会が2月20日から3月27日まで開催され、平成29年度埼玉県一般会計予算【歳入歳出予算】1兆8,644億2,700万円、平成28年度埼玉県一般会計補正予算(第6号)【歳入歳出予算補正額】△633億9,868万円などが可決されました。

**またも否決!** 「埼玉県議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」議会改革を目指す私達の会派(無所属県民会議)は、平成27年6月議会と9月議会に続き今回で3度目となる費用弁償の「実費支給」への条例改正案を提出しましたが、自民党県議団などに反対され否決されました。

## 提案の説明

埼玉県議会は会期中、議案調査などで登庁すると住所地からの距離に応じて10km未満6,000円、50km未満8,100円、50km以上10,200円の3区分による「定額支給方式」で費用弁償が支給されています。

今の制度は県庁の近くに居住し、自転車で通勤したとしても定額で6,000円が支給されており、平成27年度では年間約4,844万円もの金額に上っています。大阪府議会は既にこの制度を廃止し、東京都議会も2月22日に廃止(島しょ部は除く)しました。神奈川県議会や千葉県議会も「実費支給方式」(実際にかかった費用)に替わっていますので、少子高齢化に伴い行政需要が増加する埼玉県においても定額支給を改め実費支給に改正するべきではないでしょうか。

### 秩父地域 反対の要望書

## 遭難抑止効果議論

### 防災ヘリ有料化案 県議会委可決 観光への影響も

#### 自民「受益者負担」主張

同案は、危険が伴う登山には、登山者自身が責任を負い、必要に応じて登山料を徴収する。これにより、登山者の安全意識を高め、登山事故を減少させる。また、登山料の徴収は、登山者の負担を軽減し、登山の魅力を高める効果がある。同案は、観光客の増加による登山道の整備や安全管理の費用を捻出する効果も期待される。同案は、観光客の負担を軽減し、登山の魅力を高める効果がある。同案は、観光客の負担を軽減し、登山の魅力を高める効果がある。

各会派からの質問	自民党議員の答弁
遭難抑止効果	登山料を徴収することで、登山者の安全意識を高め、登山事故を減少させる効果がある。また、登山料の徴収は、登山者の負担を軽減し、登山の魅力を高める効果がある。
観光	登山料を徴収することで、登山者の安全意識を高め、登山事故を減少させる効果がある。また、登山料の徴収は、登山者の負担を軽減し、登山の魅力を高める効果がある。
救助要請の抑制	登山料を徴収することで、登山者の安全意識を高め、登山事故を減少させる効果がある。また、登山料の徴収は、登山者の負担を軽減し、登山の魅力を高める効果がある。
手数料徴収の対象	登山料を徴収することで、登山者の安全意識を高め、登山事故を減少させる効果がある。また、登山料の徴収は、登山者の負担を軽減し、登山の魅力を高める効果がある。

3月7日読売新聞



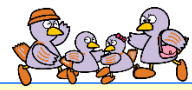
### 防災ヘリ有料化に対する反対討論

1月6日から2月5日までおこなった県民コメントでは僅か15件しか意見がなく(有料化に賛成6件・反対9件)その内容も明らかにされていません。また、手数料が発生した場合の徴収方法や期間近県や執行部との調整がなされていないなど多くの課題があります。有料化は秩父地域の山岳、観光関係者、団体等から多くの反対があるため、より深く丁寧な議論と時間が必要です。そこで、今回の議会で結論を出さずに継続審査にするべきと考えます。





## H29年度の主な新規事業



### 私立学校父母負担軽減事業

(予算額 12,536,005千円)

\* 高校・・・これまでの年収約500万円未満世帯から609万円未満世帯までに授業料の補助を拡大！(県内授業料の平均額37,5万円)  
対象者が約25%から約35%に  
\* 小・中学校・・・年収約400万円未満世帯に対する授業料の補助(10万円)を新設。

### シニアの働く場の拡大

(予算額 69,615千円)

\* 70歳雇用推進助成金の創設  
定年を70歳以上まで延長または定年制を廃止した企業に支給。

- ①定年制の廃止
- ②定年の引き上げ(70歳以上)
- ③継続雇用の延長  
(70歳以上希望者全員)
- ④継続雇用の延長

### 多子世帯応援クーポン事業

#### 多子世帯向けの住宅取得支援

(予算額 74,412千円)

\* 第3子以降が生まれる世帯に5万円のクーポンを配布。

(H29年度2万円、H30年度2万円、H31年度1万円)

\* 多子世帯が子育てしやすい新築住宅の取得支援

(上限50万円・500戸)



## 第2回県政報告会 盛大に開催！

上田清司埼玉県知事、原口和久鴻巣市長、大島あつし衆議院議員をお迎えし、県政報告会が盛大に開催されました。

「びっくりひな祭り」に合わせて演台の上にはお雛様を飾り、市議会で昨年12月に可決・成立した「鴻巣の花を見て育てて贈ってふれあう花のある生活促進条例」に賛同し、花でテーブルを彩りました。報告では一年間の活動や平成29年度の新規事業、現場に足を運んで確認してきた工事箇所を一足早くご説明させていただきました。



## 平成29年度 主な工事箇所



上谷交差点先300m舗装



歩道設置のため測量調査



元荒川護岸工400m(川里地域)ふるさと総合緑道の整備



吹上地域(元荒川) 川の国埼玉はつらつプロジェクト  
プロフィール



榛名陸橋 断面修復



内方線付き点字ブロック(吹上駅)

昭和45年(1970)鴻巣市本町生まれ/鴻巣幼稚園/鴻巣東小学校/鴻巣中学校/埼玉栄高校(サッカー部)/亜細亜大学経済学部国際関係学科卒/セントラルワシントン大学AUAP課程修了/鴻巣幼稚園保護者会副会長/鴻巣市商工会青年部第31代部長/第8回このす花火大会代表/鴻巣市消防第2分団員(20年目)/鴻巣東小PTA副会長/鴻巣市議会議員2期/H27年埼玉県議会議員初当選/警察危機管理防災委員/危機管理・大規模災害対策特別委員/5か年計画特別委員/家族/妻・長女(大学生)・長男(中学生)・愛犬レオ